

## 「サハリンⅡプロジェクト」 海上プラットフォーム建設工事

1998(平成10)年8月から同年11月まで、日露エネルギー協力の一環として、サハリン・ノリグク沖海底石油天然ガス開発の海上プラットフォーム建設工事を実施。オランダ・バンオード社からの発注で、日本商社との企業連合で推進された。

### 【工事概要】

- 可動式掘削設備・モリックパック(縦・横110m、高さ90m)を世界最大級の曳船3隻(合計52,000馬力)を使用し、韓国・釜山から現地まで曳航。8月6日に出港、8月末に現地に到着し、設置した。
- 多目的旋回起重機船・山城(全旋回1,600t吊)により、サルムベース据付(杭3本打設)、サルムベース取付、ライザー管・パイプライン敷設を施工。
- 新洋丸・オーシャンオルカによりラズリットから現地まで、流氷被害防止用岩石を海上輸送した。
- 新海丸により資器材の輸送やその他各種支援作業を行った。

